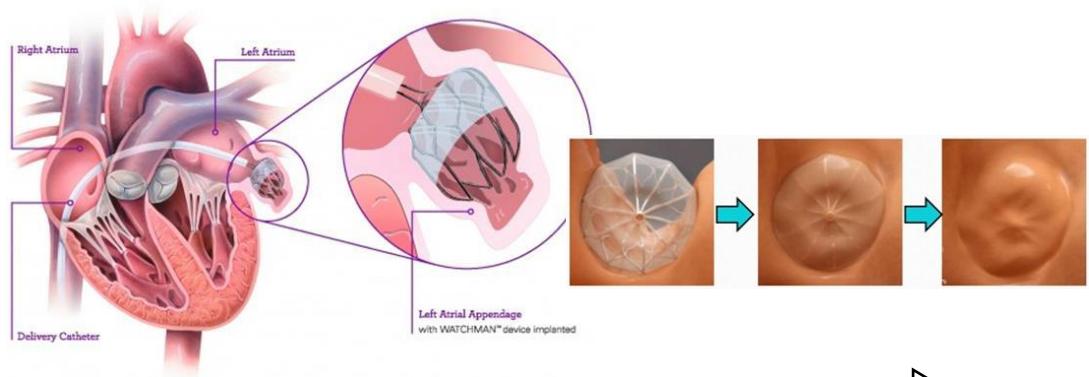


左心耳閉鎖術適応チェックシート

以下の4つの口にチェックが入れば、左心耳閉鎖術の適応となる可能性があります

- ① はい いいえ 非弁膜症性心房細動の患者さんである
- ② 脳卒中リスクの高い患者さんである
 ≒CHADS₂スコア1点以上
- ③ いずれか1つ以上に該当する
- HAS-BLED スコアが3点以上
 - 転倒・転落に伴う治療歴が複数回ある
 - びまん性脳アミロイド血管症の既往
 - 抗血小板薬2剤以上を長期(1年以上)服用
 - BARC type3 に該当する大出血の既往
- ④ 短期的な(45日程度)抗凝固療法であれば可能



『左心耳閉鎖術』なら抗凝固療法を中止して、出血リスクを抑えながら適切な脳卒中予防を実現できるかもしれません

CHADS₂ (塞栓症リスク評価)

HAS-BLED (出血リスク評価)

	危険因子	スコア
C	心不全、左室機能不全	1
H	高血圧	1
A	年齢 75 歳以上	1
D	糖尿病	1
S ₂	脳梗塞、TIA の既往	2
合計スコア		

	危険因子	スコア
H	高血圧*1	1
A	腎機能障害、肝機能障害 (各 1 点)*2	1-2
S	脳卒中	1
B	出血*3	1
L	不安定な INR*4	1
E	65 歳以上の高齢者	1
D	薬剤、アルコール (各 1 点)*5	1-2
合計スコア		

*1: 収縮期血圧 > 160mmHg

*2: 腎機能障害: 慢性透析や腎移植, 血清クレアチニン 200 μ mol/L (2.26 mg/dL) 以上. 肝機能異常: 慢性肝障害 (肝硬変など) または検査値異常 (ビリルビン値 > 正常上限 \times 2 倍, AST/ALT/ALP > 正常上限 \times 3 倍)

*3: 出血歴, 出血傾向 (出血素因, 貧血など)

*4: INR 不安定, 高値または TTR (time in therapeutic range) < 60%

*5: 抗血小板薬や NSAIDs 併用, アルコール依存症

BARC (出血基準)

Type 3a	明らかな出血 + 出血に関連したヘモグロビンの低下 3 ~ < 5g/dl 明らかな出血に伴う輸血
Type 3b	明らかな出血 + ヘモグロビンの低下 \geq 5g/dl 心タンポナーデ 外科的介入を要する出血 (歯科 / 鼻 / 皮膚 / 痔を除く) 血管作用薬の静注を要する出血
Type 3c	頭蓋内出血 (微小出血または出血性変化は含まない) 剖検、画像検査、または腰椎穿刺により確認されたもの 視力の損傷を伴う眼内出血

左心耳閉鎖術について詳しく知りたい方は以下の QR コードもしくは URL よりご確認ください。



心房細動による脳卒中のリスクと左心耳閉鎖術

[https:// www.youtube.com/embed/nGQEB-cVHj8](https://www.youtube.com/embed/nGQEB-cVHj8)

上記内容に当てはまる場合は、**横浜南共済病院 循環器内科**までご紹介ください。

紹介予約については、医療機関からの申込制となっております。「左心耳閉鎖術適応チェックシート」に記載のうえ、紹介予約申込書に添付、または指名医師宛に「WATCHMAN™ 担当医師」とご記載いただき、FAXにてお申し込みください。また、診療情報提供書は患者さんにお渡しいただき当日ご持参ください。

＜紹介予約＞

横浜南共済病院 地域連携室 (直通)

TEL: 045-782-8939 / FAX: 045-786-2686



国家公務員共済組合連合会
横浜南共済病院
WATCHMAN™ 担当医師

部長 鈴木 誠
医長 萬野 智子
医長 島田 博史